

# 認定こども園 卒園式

3月28日、中頓別町認定こども園で卒園式が行われました。

卒園児たち8名は、名前を呼ばれると元気良く壇上へ上がり、園長が手渡した卒園証書をしっかりと受け取りました。

その後、在園児の送る言葉、手話ソングの合唱を行い、式は無事に終了。式の最後には立派に成長し卒園していく姿に、こども園の先生や保護者からは涙がこぼれました。

|                 |    |
|-----------------|----|
| 教育行政執行方針        | 2  |
| まちの話題           | 8  |
| インフォメーション       | 10 |
| 地域おこし協力隊通信      | 12 |
| ダリン&ジャクレンのALT通信 | 13 |
| 保健師さんの健康宅配便     | 14 |
| 図書室だより          | 15 |
| 戸籍だより・編集後記など    | 16 |



# 平成31年度教育行政執行方針

平成31年第1回中頓別町議会定例会の開会にあたり、田邊教育長から中頓別町教育委員会の所管行政に関わる主要な方針が述べられました。

子どもは未来からの留学生であり宝です。この思いは変わりません。地域やふるさとを元気にする源は、何をおいても教育の充実です。子どもたちの躍動する姿や子どもの成長は地域の人々に元気と勇気を与えるものです。

今年、中頓別町は開拓110年・町制施行70周年にあたります。先人の築かれた歴史を振り返り、この豊かな郷土と長年の努力の中で創り上げられてきた価値ある取組みを未来へつなぐことも教育の役割と認識していきます。

このことを念頭において、平成31年度の学校教育や社会教育

を推進してまいります。それは、その主要な方針について申し上げます。

## 柱1

### 「社会で生きる」

#### 実践的な力の育成」

子どもたちが、これからの時代を生き抜く力を身につけるためには、各学校が、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を社会と共有し、必要な資質や能力を社会との連携・協働により育成する「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づき授業改善を進めるとともに、教育効果を高める「カリキュラム・マネジメント」を実践することが重要です。

小学校や中学校は、全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト

トなどを活用した学力や学習状況の把握・分析、指導方法の改善を検証改善サイクルとして学校全体で取り組むとともに、各学校で作成する学力向上プランを確実に実施することが必要であり、そのためには、管理職の強いリーダーシップと児童生徒の指導に直接あたる教員一人ひとりの授業力の向上は不可欠です。

授業は、「①はじめに授業の課題を提示する ②児童生徒が自分で考える ③ペアやグループ、学級全体で話し合う ④終わりにまとめを板書し振り返る」など、日々の授業を大切に、当たり前のことを継続することが、児童生徒の学力向上につながります。また、学力向上プランを意識した授業を実践することを指導助言してまいります。

子どもたちには、「早寝・早

起き・朝ご飯」など、望ましい生活習慣の確立、それぞれの学年プラス10分を目処とした学習時間の確保など、しっかりと家庭で学習する習慣が定着することを啓発してまいります。

土曜日授業については、平成31年度は小学校で5回、中学校で8回実施します。通常の授業や補充的な学習、総合的な学習の時間、学校行事などを行います。特に小学校では、外国語活動の時間が増加することに伴い、土曜日授業の有効活用を期待しています。

特別支援教育については、障がいのある児童生徒だけでなく、全ての児童生徒が互いに尊重しあうことが大切です。小中学校では、特別支援コーディネーターや校内委員会において組織的に対応するとともに、特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じ

た指導や支援の充実に努めてまいります。

小学校は、現在の人数では4年生と5年生で複式学級になります。平成31年度も町費負担の教員（時間講師）を配置し、単学年による授業の実施や学校運営の充実を図ってまいります。

外国語活動とALT（外国語指導助手）の配置については、ALTの2名体制は継続します。平成29年9月から、小学校1・2年生の希望者を対象に、毎月1〜4回の「放課後英語教室」を実施してきました。ALT2名が指導に当たりましたが、教員の直接的な係わりが少なかったため、子どもたちの指導に戸惑う場面もありました。

平成30年度は、小学校1・2年生は年間3時間の外国語活動の授業を実施しています。平成31年度からは、この3時間の授業に加え、「放課後英語教室」を小学校1・2年生全員が学ぶ外国語活動の授業として、年間15時間程度実施したいと考えて

います。

この授業は、3年生以上の外国語活動と同様に、ALTと教員がTT（ティームテイミング）で指導に当たる体制とします。ネイティブ・スピーカーとしてのALTの力量発揮はもちろんです。教員自身が英語に関心を持ち英語力の向上に努め、小学校3年生からの本格的な外国語活動にスムーズにつながることを期待しています。

平成30年度は新学習指導要領の移行措置として、外国語活動は、小学校3・4年生で15時間、5・6年生で50時間実施しました。平成31年度は、それぞれの学年で10時間増やし、小学校3・4年生は25時間、5・6年生は60時間実施します。

児童生徒の英語力の向上にALTが大きく貢献すること、教員がALTの授業をマネジメントする存在となり、英語を楽しむこと。その姿勢が子どもたちに伝わり、子どもたちの英語力の向上につながることを強く期

待しています。

また、放課後子どもプランの子どもたちを対象にした隔週1回のALTの「英語教室」は、継続してまいります。

認定こども園でもALTによる英語教育（英語であそぼう）を週2回実施しています。生活発表会で実施された「こすもす組」の英語劇「The 5 Bears - ごひきのくま」は、子どもたちの英語の発音に、これまでのALTや保育士の指導の成果が十分に表れていました。

子どもたちが認定こども園で学んだ本物の英語は頭や耳に残ります。小学校は、認定こども園の取組を引き継ぐとともに、中学校につながる質の高い外国語活動の授業の実践が求められます。小学校教員の努力を期待します。

中頓別町の子どもたちは、英語を聞く力や発音が素晴らしい、英語の基礎が身についている、認定こども園や小学校で学んできた英語のコミュニケー

ションの楽しさが継続され、中学校や高校でも英語が大好きな子どもたちとなることを期待しています。

昨年8月に英語の学びの集大成となる取組み、未来への挑戦「中学生ハワイ英語研修」を実施しました。平成31年度も、昨年希望しなかった新3年生4人、新2年生12人を対象に参加希望を募り、夏休み中に実施する予定です。中学生や引率者を含めて最大で20人程度となることを想定しています。

小中学生に漢字検定や英語検定の検定料を全額補助する取組みも継続します。この取組みは、中頓別町の児童生徒一人ひとりの可能性を伸長させ、励みとなるものであり、基礎学力の向上や自己肯定感の向上につながることを認識しています。

認定こども園は、家庭との連携や連絡を密に取り合いながら、安全な環境作りと、子ども一人ひとりを大切にする保育や幼児教育を進めています。平成

30年度は、「四季を通して中頓別町の自然に親しむなかで、豊かな感性と自ら考える力を育む」ことを年間目標に、自然の中で子どもを育てる（活動させる）「森のこども園」が20回実施されました。

「森のこども園」は、園長や保育士が3〜5歳児を対象に、敏音知地区、鍾乳洞、ふるさとの森などで、そうや自然学校などの協力を得て、「五感を研ぎ澄まし、自ら進んで考え判断し、体力向上を図り、コミュニケーション能力を高める」多様な体験を実施しています。

この取組みは、子どもたちの心と体のバランスのとれた発達を促す、豊かな感性を育む、自分で考え行動できる自主性を養うなど、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の実践そのものであると認識してまいります。平成31年度も継続してまいります。

昨年7月に開始した「なかとん学習塾」についてです。小学

校4年生以上を対象に週2回（火曜日・算数、金曜日・隔週で国語と英語）、町民センターで実施しています。参加人数は数名ですが、平成31年度も学力の向上を目指して塾長（認定こども園園長）とスタッフ（教育長、ALT）で地道な指導を継続してまいります。

小学校と中学校の校舎や学校の在り方についてです。現在、1回目の「学校改修準備委員会」が開催（2月22日開催）されました。この準備委員会は、アドバイザー2名（大学教授、関係研究機構職員）、委員8名（町・教育委員会関係者）から構成されています。

学校準備委員会では、「①学校改修・統合に係る考え方を整理する ②本町の生涯学習に対応した学校施設とする ③通学に係る利便性、道路事情、交通安全対策、防犯・防災対策を考慮する ④自然エネルギーの活用や停電時の対策を考慮する ⑤本町のシンボリックな施設とす

る」といった内容をたたき台として、意見の集約を行ってまいります。

3月に2回目の学校改修準備委員会を開催し、会議内容をまとめ「学校施設改修計画推進委員会」に諮ることとしています。

この計画推進委員会は、学識経験者等3名、教育委員、社会教育委員、自治会連合会、学校関係者、PTA関係者、高齢者事業団体、老人クラブ関係者合わせて9名、事務局5名から構成される予定です。

学校施設改修計画推進委員会では、「①学校の在り方について学校改修準備委員会報告の検証 ②アンケート調査 ③理事者との打ち合わせ、報告書の作成 ④議会、地域・学校関係者への説明」などを行うことを目的としており、本年7月末を目途に3回程度開催し、方向性を示す予定です。状況によってはこのとおりに進まないことも予想されます。準備委員会や推進委員会の回数が増え、方向性を

示す時期が遅れることがありますことを申し添えます。

## 柱2

### 「豊かな心と健やかな体の育成」

子どもたちの健やかな成長のためには、豊かな情操や道徳心、正義感、規範意識、他者への思いやり、自己肯定感などを育むとともに、充実した人生を送るための基盤となる健康の保持増進や体力の向上が重要です。

平成30年度から小学校で「道徳」の授業が始まりました。平成31年度から中学校でも「道徳」の授業が開始されます。指導方法などに関する研修会が開催されていますが、教員一人ひとりが、多様な道徳的価値について、子どもたちが議論し、心を耕しあう授業を行うことを期待してまいります。

体力は、あらゆる活動の源として、健康の維持のほか、意欲や気力の充実にも大きく関わるものであり、生涯にわたって心

身とも健やかに生きていくための基盤となるものです。子どもたちの体力の向上にむけて、体育の授業の工夫改善や日常的な運動プログラムの取組みを指導助言してまいります。

また、開拓110年・町制施行70周年記念事業として、株式会社かんぼ生命による2019年度巡回ラジオ体操（NHKラジオ体操会）が、7月27日に実施されます。体力向上の一貫として、町民の皆様の参加を期待しております。

いじめの防止については、平成30年度に改定した「中頓別町いじめ防止基本方針」を小中学校で再度、周知徹底するとともに、望ましい人間関係の醸成はもとより、いじめ等の未然防止と適切な実態把握による早期発見を基本として、組織的かつ迅速な対応が図られるよう指導助言してまいります。

また、子どもたちがネットトラブルの被害者や加害者にならないよう、保護者や児童生徒向

けの各種啓発資料を通して、適切なインターネットの利用やトラブルなどに対応する相談窓口を周知してまいります。

日常的な生活習慣や食の嗜好を見直す機会となる、小学校4年生と中学校1年生の生活習慣病予防検診（血液検査）、むし歯ゼロを目指す、認定こども園・小学校・中学校のフッ化物洗口は、継続してまいります。

学校給食についてです。各種食材の値上がりや消費税が10%になることが気になりますが、町費による児童生徒の給食費補助を継続します。季節や旬の食材の利用拡大、新たなメニューを加えるなど、児童生徒に栄養バランスのとれた安心・安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。

また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の定着に向けて、栄養教諭による食育の授業を継続してまいります。

### 柱3

#### 「信頼される学校づくりの推進」

学校が保護者や地域住民の期待に応え、子どもたち一人ひとりの力を最大限に伸ばすためには、認定こども園・小学校・中学校それぞれが円滑な連携や接続を図りながら、管理職がリーダーシップを発揮して学校運営に当たるとともに、教職員が健康で、それぞれの力量や持ち味を発揮できる職場環境をつくることが重要です。

このため、教職員が健康でやりがいを持つて教育活動に臨めるよう、本町でも「学校における働き方改革アクションプラン」を策定しました。業務改善の推進はもちろん、定時退勤日・部活動休養日・学校閉庁日の設定、変形労働時間制の活用等、時間外勤務縮減に向けた具体的な取り組みを指導助言してまいります。

教職員は思考する時間が必要

です。働き方改革が勤務時間の縮小に留まることなく、教職員が視野を広げ、生活を豊かにする時間が増えることを期待してまいります。

教職員はそれぞれのキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な道立教育研究所等が実施する各種研修会に参加するなど、積極的に自らの資質向上に取り組むことが求められます。

特に小学校の外国語活動の授業は、教員の研修が必要です。小学校教員による道外先進校の視察研修を実施します。「百聞は一見に如かず」、インパクトの大きな授業から学んだ取り組みが教員一人ひとりに還元され、日々の授業モデルになることを強く期待してまいります。

昨年の9月に認定こども園の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）がスタートしました。認定こども園・小学校・中学校と学校運営協議会を推進する体制が整いました。学校と地域が情報を共有するようになり、相

互の関係が深まりつつあると認識しています。

今後は、さらに内容を充実させること。課題の解決に向けて熟議と議論を重ねること。「どのような子どもに育てたいのか」「学校・家庭・地域は何ができるのか」など、自由に意見を出し合って対話を重ねる学校運営協議会として成長することを期待しています。

児童生徒の通学路につきましては、昨年12月に「中頓別町通学路交通安全プログラム」が策定されました。このプログラムに基づき、関係機関と連携した点検、対策の検討や実施、対策一覧表や対策箇所図を作成して公表しました。地域で子どもを守る意識を高めてまいります。また、昨年7月に警察協力功労者として道警本部長から表彰された「子ども安全パトロール隊」に敬意を表するとともに、日々の取組みに深く感謝申し上げます。下校時の子どもたちへの温かな声かけなど、高齢者か

らなる隊員の皆様に活動の継続をお願いします。児童生徒の教育活動に直接携わる教職員には、高い倫理観が求められ、勤務規律を徹底する必要があります。教職員の不祥事の根絶に向けて、勤務に関する通知や資料などを活用しながら、管理職による職場研修や個人面談の充実を図るとともに、定例の校長会教頭会で繰り返し、指導助言を行います。

#### 柱4

##### 「生涯学習の振興」

中頓別町民が潤いのある生活と活力ある地域づくりを推進するためには、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かせる環境をつくることが重要です。そのためには、社会教育の充実が必要で、教育委員会は、各文化団体やスポーツ団体をはじめ、自主的・自発的な文化やスポーツ活動へ支援を行うとともに、子ども未来塾・中頓別チャ

レンジ教室「夏・冬」や高齢者いきいき教室「リフレッシュ研修旅行」を継続してまいります。

また、新しい事業として、町内外の有識者による講演会「仮称・中頓別文化塾（教養塾）」を実施します。元日本中学校校長・落語家・大学教授・スポーツ関係指導者・自然・産業・音楽・写真など多彩な専門家を講師として、60〜90分程度の講演を検討しています。

平成31年度は、講師の確保にありますが、役場会議室や町民センターを会場に、平日開催は18時以降、休日開催は13時以降から講演会を4〜5回開催したいと考えています。内容や日時を広報や旬報で周知する所存です。

なお、4月から社会教育主事が配置される予定です。社会教育に係る多様な企画や立案、運営など、社会教育主事として、専門性が十分に発揮されることを期待しています。

読書は、生涯にわたる楽しみ

であるとともに、様々な学びにつながるものです。本町では、絵本との出会いを通じて母子の触れ合いを深めるブックスタート、成人式で新成人に本のプレゼント、小中学校で実施されている朝読書、認定こども園や小学校ではボランティアサークルの方々などによる読み聞かせが行われています。

平成31年度もこれらの取組みを継続するとともに、本が大好きな子どもたちの育成に努めてまいります。知の拠点となる図書室の利用者や貸出数は伸び悩んでいます。広報の図書室だよりで新着図書の紹介や、読み聞かせボランティアサークルの活動も紹介されています。町民の皆様が気軽に図書室を利用していただくことを期待しています。

#### 柱5

##### 「文化芸術・スポーツの振興」

町民が心身ともに豊かで、健

やかに、潤いのある生活を営むためには、身近に文化芸術、スポーツに親しむ機会を創出することが求められます。

町民文化祭は、各文化団体や個人で創作や練習に励んでいる文化的な取組みの成果を発表する場であるとともに、訪れた皆さんの心に良質な栄養を与えるものです。継続されている中学校などの作品展示、各種の体験やものづくり、バザーをはじめ、ピアノ教室のミニコンサート、詩吟やカラオケは絶好の発表の機会であり、来訪者の憩いの一時であったと認識しています。

平成31年度は、札幌国際情報高校吹奏楽部の演奏会を予定しております。この高校の吹奏楽部には、部員が100名以上在籍しておりダンプレ (Dancing & Playing : 演奏しながらダンスするパフォーマンス) スタイルの演奏に特色があります。全道各地で公演を行っており高い評価を得ています。

ダンプレは広い会場が必要となることから、小学校体育館で実施することを予定しています。これまでの演奏会とは、ひと味異なる、圧巻のパフォーマンスを堪能する一時となると確信しております。

また、開拓110年・町制施行70周年記念事業として、6月16日午後、札幌交響楽団による「ほくでんファミリーコンサート」を小学校体育館で実施することが決定しています。札幌国際情報高校吹奏楽部のダンプレ、札幌交響楽団のコンサートは、本物の文化芸術として十分に値するものです。多くの町民の皆様の入場を期待しております。

心身ともに健康で豊かな生活を送ることは、全ての町民の願いです。スポーツの振興は、体力の維持向上や子どもたちの健全育成など、明るく健康で活力のある地域社会づくりにつながるものです。

平成31年度もスポーツ推進委

員会と連携して、パークゴルフやミニバレーボール大会など、屋内外の町民大会を開催します。また、各スポーツ団体等が主催する大会へのサポートを実施してまいります。教育委員会として各大会の情報発信を行うとともに、それぞれの大会に多くの町民の皆さんの参加を期待しています。

寿スキー場は、昨年12月にペアリフトのスキー場としてリニューアルオープンしました。ペアリフトは好評で、中頓別町内はもとより近隣市町村からの利用者も増加しており、今シーズンも輸送人員(リフト利用延人数)の増加を期待しています。また、「トイレがウォッシュレットになった。たいへん良かった」という声も聞いております。平成31年度は残されたロτζジの改善を実施します。

「夢と希望を！感動体験事業」は、子どもたちに本物の感動を伝えるとともに、学習上の動機付けにもつながるものです。

ミュージカルやラフティングなどを体験する取組みを継続してまいります。

なお、本町は北海道日本ハムファイターズによる「北海道179市町村応援大使」の抽選会で2019年中頓別町応援大使を決定しました。応援大使は、「白村明弘」外野手、「黒羽根利規」捕手、「王柏融(ワンボロン)」外野手の3選手です。

この応援大使にあやかり、子どもたちにプロスポーツの感動を与える機会を創出したいと考えています。北海道日本ハムファイターズ中頓別後援会と連携協力した札幌ドームで開催される公式戦の日ハム応援ツアーを予定しています。

平成31年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

町民の皆さん並びに町議会議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。平成31年度の教育行政執行方針といたします。

## 新規就農者へ支援 精松さん 補助金交付

2月28日、役場町長室で精松（あべまつ）智通さん、光代さん（あべまつ）智通さん、光代さん夫妻に対して、町独自の制度である「新規就農者誘致特別措置条例」に基づき、経営安定補助金が交付されました。

精松さんは、昨年4月に岩手地区へ新規就農。本町での新規就農者は4件目であり、今後の新規就農希望者の手本となる活躍が期待されます。



## 大規模農場 法人畜舎竣工式

3月16日、株式会社デイリースウル中頓別が運営するドリームジャンボファームの畜舎竣工式が行われました。

この牧場は、中頓別町初の法人経営牧場であり、搾乳に集中した酪農経営体となっております。最新の機械を用いることで、研修機能が向上しており、新規就農希望者への研修農場としても位置づけられています。



## 地産地消の取り組みを評価 指導林家認定証交付式

3月19日、役場会議室で指導林家認定証交付式が行われました。

今回認定を受けた長田武志さんは、山林管理や植栽・保育だけでなく、間伐材の利用といった地産地消を積極的に進めたほか、森林組合理事として指導・助言を行い、ほかの指導林家と連携した取り組みが期待できるところから認定となりました。



## 備えるのはモノと心構え 防災講話・体験会

3月24日、町民センターで防災講話・防災グッズ体験会が行われました。

講演では、南宗谷消防組合中頓別支署職員から「想像力を働かせ、災害発生時には何が危険で、どういった対策が必要であるか考えることが重要」との話がありました。会場には様々な防災グッズが展示され、非常食の試食などが行われました。



## 感謝と激励 中学校卒業式

3月10日、中頓別中学校卒業式が行われました。

卒業生11名には、卒業証書授与の後、学校長や町長をはじめとする来賓による祝辞、在校生から卒業生への激励のメッセージが贈られました。

卒業生からは、在校生や先生への感謝のメッセージ、高校に行つてからの抱負が語られ、会場は感動の涙に包まれました。



## 夢へ向かう決意の日 小学校卒業式

3月17日、中頓別小学校卒業式が行われました。

9名の卒業生は、沢口校長から卒業証書を受け取り、壇上から会場に向けて将来の夢や中学校の目標を宣言。

消防士や大工、イラストレーターなど、それぞれの夢に向かって「数学を頑張りたい、部活動を頑張りたい」といった、未来への決意が述べられました。



## 巣立つ仲間へエールを こども園お別れ会

3月13日、認定こども園でお別れ会が行われました。

お別れ会では、園児による楽しい発表が行われ、在園児からはこれまで身に着けたことを活かして卒園児にエールを、卒園児からは、こども園で過ごした思い出の手紙を発表しました。

最後は、みんなで楽しくダンスを踊り、給食バイキングを楽しみました。



## 自然教育を考える 教育講演会

3月23日、役場大会議室で講師に長野県池田町教育長の竹内延彦さんをお招きし、教育講演会が開催されました。

講演では、自然教育の理念や期待される効果についてお話があり、その後の意見交換会では、町長、教育長らと交え、中頓別町の子どもたちの日々の成長やこれからのについて活発な議論が行われました。



## 中頓別町地域づくり活動支援事業を募集します！

地域特性や地域資源を活かした地域づくりを推進する活動に対して補助金を交付します。

申請を希望される方は、次の事項を確認の上、期日までに事業実施計画書及び予算書などの必要書類をご提出ください。

□補助対象 中頓別町内に住所を有する個人及び団体

□対象事業

- (1) 保健、福祉、医療に関する事業
- (2) 教育、文化、スポーツに関する事業
- (3) 農林水産業、商工業、観光の振興に関する事業
- (4) 環境保全及び創造、景観に関する事業
- (5) 移住・交流の推進に関する事業
- (6) 前各号に係る新たな事業を開始するための調査、研究、研修に関する事業
- (7) その他、地域振興に関する事業

□対象経費

補助対象事業に要する経費のうち、人件費、食糧費、土地の取得に関する経費を除いた経費となります。なお、国又は北海道の補助金若しくは他の事業団体から助成金等を受けている場合は、当該補助金等の額を補助対象経費から除くこととします。

| 補助対象経費        | 補助金の額   |     |     | 交付率          |
|---------------|---------|-----|-----|--------------|
|               | 上限額     | 下限額 | 単 位 |              |
| (6)を除く(1)～(7) | 1,000万円 | 5万円 | 1万円 | 補助対象経費の1/2以内 |
| (6)           | 1,000万円 | 5万円 | 1万円 | 補助対象経費の1/3以内 |

## いきいきふるさと推進条例をご存知ですか？

移住定住促進事業 ・転入支援 生活情報誌、なかとん牛乳引換券配布 900ml×4本分

・就職祝金 商品券5万円

就学支援事業 ・通学用バス定期運賃補助事業 バス定期運賃5割12か月(上限)

・高等学校等通学家庭補助事業 商品券10万円分(町外通学の場合も対象)

子育て支援事業 ・出生祝 第一子・第二子：10万円(商品券5万円含む)

第三子以降 : 30万円(商品券5万円含む)

・絵本プレゼント

結婚支援事業 ・結婚祝 一組30万円

※ 詳細につきましてはお問い合わせください。

□問い合わせ 総務課政策経営室(01634-6-1111)

## ご家庭で不用になった物を再利用！！

### 「なかとんリユース」

「捨てるのはもったいない…」 「使う人がいたらもらって欲しい…」 そういった用品はありませんか？ご家庭で使わなくなった家具や家電、生活雑貨を、「なかとんリユース」でリユース（再利用）用品として登録することができます。

「なかとんリユース」は、不用になった物のリユースや資源の有効活用、ごみの減量を目的として、譲りたい方（提供者）と譲り受けたい方（希望者）の結びつけを行っている事業です。リユース用品として登録できる物は、修理なく再利用できる品質や機能がある家具・家電・家庭用品・一般機器類等に限りません。

### — 利用方法 —

- ①提供者はリユース促進コーナー（総務課住民グループ）で、登録カードに必要事項を記入し、写真を添付して登録を行います。  
□対象者 町内に居住する成人の方  
※ 営利目的での登録は不可  
※ 写真登録ができない方はご相談下さい。
- ②希望者は、登録情報を役場庁舎または町ホームページで確認し、リユース促進コーナーにて希望者登録を行います。  
※ 役場町民ホールの掲示板にリユース用品の写真を掲示しておりますので、お気軽にご覧ください。
- ③提供者から希望者へ連絡を行い、当事者間で交渉を行います。  
（希望者が重複した場合は、届出順となります。）
- ④交渉が成立したら、リユース用品の受け渡しを行います。
- ⑤総務課住民グループへ受け渡し完了を報告します。  
※ 交渉中や交渉成立後に生じたリユース用品の品質・機能・価格、受け渡しに関する一切のトラブルについては、当事者間で解決いただきますようお願いいたします。

□問い合わせ

総務課住民グループ (01634-6-1111)

中頓別町 なかとんリユース

検索

## 地域おこし協力隊通信の掲載が終了となります

協力隊通信は隊員個々の体験や取組内容などを町内外に発信するほか、転入者の目線で捉える「なかとんべつの魅力」を取り上げ、地域の皆さんと共有していこうと始めました。試行錯誤を重ねながらの発信でしたが、隊員間での意見交換の機会が増えたり、地域の方から感想をいただいたり、やりがいを感じることができました。

広報紙での情報発信は終了となりますが、Facebook やブログを活用した情報発信は継続していきますので、今後とも活動の理解とご協力をお願いいたします。

最後に、これまでの隊員の活動と今後の抱負を掲載します。1年間ありがとうございました。

### そうや自然学校担当 北川隊員

そうや自然学校のアウトドア体験のメインガイドとして活動し、新たな体験メニューとして「砂金掘りツアー」をスタート、鍾乳洞を活用した冬季プログラム「最北氷筍スノートレッキングツアー」の更なるグレードアップに尽力し、道内外の多くのお客様にお越し頂きました。今後も中頓別が持つ「楽しい・面白い」を形にした体験プログラムを展開していきますので、応援よろしく申し上げます。

### そうや自然学校担当 加藤隊員

そうや自然学校の子ども向け事業を主に担当し、認定こども園との連携事業「森のこども園」を年20回、小中学生向けの自然体験「ピンネシリこどもキャンプ」を年9回実施しました。今年度は森のこども園を継続し、小中学生に対しては「なかとんのことをもっと好きになる自然体験」をコンセプトに、地域の方々を講師にお招きし、中頓別の魅力を活かした体験を展開していきます。

### 食彩工房もうもう担当 泉隊員

前年度は食彩工房もうもうで、料理・食品の加工体験を通じてものづくりの楽しさを伝えながら、食文化の創造、町民相互の交流に携わりました。パンやアイス、ソーセージ、ベーコンなどを手作りして、食べる事の感動を共有することが出来ました。今年度からはピンネシリ温泉ホテル望岳荘にて勤務となります。温泉施設を通じて町内外の方々と交流しつつ、中頓別の魅力を発信していきます。

### 道の駅ピンネシリ担当 シエイ隊員

昨年から道の駅でスタッフの一員として勤務しています。日常は商品販売や、はちみつ包装、道の駅のFacebook でニュースを更新するなど、スタッフと一緒に道の駅のために頑張っています。道の駅はお客様が一番に集まる場所なので、もっと日本人と外国人の皆さんと交流して、中頓別の魅力や良いところを伝えていきたいと思えます。今、私は中頓別の生活に慣れました。皆さんは私に優しく、私の下手な日本語を手助けしてくれて、感謝しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 有害鳥獣担当 山下隊員

前年度は役場に連絡の入る鳥獣の対応に従事し、アライグマ駆除対応 107 件、ヒグマ出没対応 39 件、その他の鳥獣の捕獲対応や家庭菜園等へのわな貸出しで町内を回らせていただきました。今年度は年々増加するアライグマの被害に歯止めをかけられるよう、被害を受ける方を一人でも少なくするために活動していきます。

「中頓別町地域おこし協力隊」では、日々の活動や生活の様子を発信するブログと Facebook ページを開設しています。是非ご覧ください。  
「地域おこし協力隊ブログ」は、役場ホームページからもアクセスできます。

ブログ - Facebook



# ダリン&ジャクレンの ALT 通信



This article written by Mr. Darin

## 今月の担当はダリン先生

Aloha Nakatombetsu! Spring has come extremely early this year, so let's learn a few English words and phrases for spring.

アロハ、中頓別の皆さん！今年の中頓別に春がすごく早めに来たので、春用の英単語と表現を学びましょう！

Like watching grass grow – じっと芝生が育つのを見るみたいに、様子が遅くて、とてもつまらない

This past weekend in Sapporo, the trains stopped running, so I had to wait at the station for several hours. I had nothing to do. It was like watching grass grow.

先週末、札幌で電車が動かなかったから、駅で数時間ずっと待ってたんだよ。なにもすることなくて、本当につまらなかった！

Fresh as a daisy – 元気いっぱい（直訳：ひな菊みたいに、新鮮）

Last night, I slept early, so this morning I feel fresh as a daisy.

早く寝たので、元気いっぱいです。

Not a cloud in the sky – 心配することもない（直訳：雲がない青空）

There's not a cloud in the sky. Everything looks good!

心配することないわ！いいことばかり！

Have a green thumb – ガーデニングが得意

Your garden always has an abundance of big, healthy vegetables. I'm envious of you! You must have a green thumb.

畑はいつも豊かで、野菜が元気で大きいですね！うらやましい！ガーデニングが得意ね！

A ray of sunshine – だれか、なにかが自分を幸せにすること

I'm so glad to know you. Just talking to you is like my ray of sunshine.

あなたに知り合えてよかった。ただ話しているだけで、うれしくなるよ。

健康相談・栄養相談・育児相談・介護に関する相談など、なんでもお気軽にお話しください。新年度もどうぞよろしくお願ひいたします！！



保健師

やまだ みおこ  
山田 美緒子

○子育て世代包括支援センター、  
保健全般

すべての年代の町民の方々の健康づくりのお手伝いをしています。こころの相談も含めて気軽にお声かけください。



保健師・主任ケアマネージャー

かんだ せつこ  
神田 節子

○地域包括支援センター、  
介護予防支援事業所

1年1年、新しいスタートを切るにあたって心機一転、町に必要な事業の模索と町民の顔の見える保健活動を展開していきたいと思ひます。



保健師

おの ななこ  
小野 奈々子

○2町内、あかね、旭台、兵安、神崎、  
寿、弥生、小頓別、秋田、岩手

保健師2年目となりました。少しずつですが、皆さんと関わることができ、とても嬉しく思っています。がん検診、難病などを担当をしています。今年度もよろしくお願ひします！



保健師

にしまき としひで  
西巻 俊英

○3町内、4町内、8町内、  
宮下、豊泉

中頓別に来て今年で4年目となります。皆様の健康を守るため日々活動を進め、地区担当保健師としても皆様のお役に立っていきたく思ひます。



栄養士

いちもと みゆき  
市本 美由紀

○全町民

主に栄養健康教育、栄養相談など、町民の皆さんの栄養改善、生活習慣の改善に携わっています。皆さんが健康に生活できるよう、栄養面からの支援を充実させていきたく思ひます。



保健師

やまむら りりか  
山村 莉里佳

○1町内、5町内、6町内、上駒、藤井、  
松音知、敏音知、豊平、上頓別

保健師2年目です。皆さんの健康づくりと、子どもの予防接種や乳幼児相談・健診を担当させていただきます。早く顔と名前を覚えてもらえるように頑張ります！！



助産師

やまだ すみ  
山田 寿美

○子育て世代包括支援センター  
(妊産婦・0～18歳までの子ども)

妊婦さんの健康が守られ、無事に赤ちゃんが生まれますように、ご両親が協力してよき家庭が築かれますように、お子様方が心も体も健康に成長されますように願っています。



保健師(臨時職員)

さとう さとこ  
佐藤 智子

○地域包括支援センター

29年4月より認知症地域支援推進員として地域包括支援センターにおりますので、認知症や介護で心配な事がありましたら一人で悩まずお気軽にご相談ください。

# 図書室だより

## 一般書 『宝島』

著：真藤 順丈 講談社



第160回直木賞受賞！  
日本の宝の島を三人の幼  
馴染が駆け抜ける。  
超弩級の才能が放つ青春  
と革命の一大叙事簿！

## 児童書

### 『お？かお！』

著：ひらぎ みつえ ほるぷ出版



顔の一部を動かすと表情  
が変わる。  
これまでになかった赤  
ちゃんが喜ぶしかけ絵本。

## 新着図書 (3月20日現在)

### 一般向け図書

- 『帰去来』・・・大沢 在昌
- 『不思議な話』・・・中山 恭三
- 『光まで5分』・・・桜木 紫乃
- 『本と鍵の季節』・・・米澤 穂信
- 『神様のお恵み』・・・佐藤 愛子
- 『雨上がり月霞む夜』・・・西條 加奈

### 児童向け図書

- 『えらんで！』・・・のぶみ
- 『げんきマンのきもち』・・・みなみ りか
- 『よのなかルールブック』・・・高濱 正伸
- 『ハニーのためにできること』・・・楠 章子
- 『だーるまさんだーるまさん』・・・おおなり 修司
- 『ぜったいにさわっちゃダメ？』・・・ビル・コッター

※その他、多数の本が順次入荷しています。ぜひ、ご来室ください。

## 読み聞かせボランティア「このゆびと～まれ♪」の活動

3月13日 こども園にて読み聞かせ活動



### 【お願い】

図書室から借りたままの本はございませんか？予約などもありますので、早めの返却をお願いいたします。休館日などの場合は返却ポストをご利用ください。

### 【利用案内】

□開館時間 10時～17時

□休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

It is good that we have lived in Nakatombetsu  
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —

|                       |                       |                         |                       |                         |                          |                      |                |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|--------------------------|----------------------|----------------|
| 雪解沢 古老のすがた幻に<br>高橋 恵翠 | 春うらら笑顔の人の車椅子<br>山崎 静女 | 雪解風 木々の頭を呼び起こす<br>平田 栄珠 | 窓に猫春の日受けて裏返り<br>峰友 緑恵 | 長き髪 バッサリ切りて卒業す<br>高橋 妙子 | つんのめる道はなだらか山笑ふ<br>東海林 海峯 | 大雪解 農夫の闘志廻り<br>武田 雄峰 | やまなみ吟社<br>三月例会 |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|--------------------------|----------------------|----------------|

戸籍だより  
3月1日～3月31日受付分  
(公開にご了承いただいた方  
のみ掲載しています)

うぶごえ  
みお  
字旭台 鈴木 姫桜ちゃん  
(喬也さんの子3月3日)  
字中頓別 齋藤 すずかちゃん  
(翔太さんの子3月8日)

えんぐみ  
字中頓別 中川 大城さん  
山野 由加里さん

おくやみ  
字中頓別 菊池 重雄さん  
(92歳3月17日)

### 人のうごき

(平成31年3月31日現在)  
世帯 880(-11)  
人口 1,696(-29)  
男 845(-15)  
女 851(-14)  
( )内は前月対比

### 新しい職員を紹介します (4月1日付)



保健福祉課保健福祉グループ  
主事 五十嵐 弘将



中頓別町認定子ども園  
保育士 醜茶 南



教育委員会教育グループ  
社会教育主事 喜多見 健二



南宗谷消防組合警防グループ  
消防士 西村 優月



中頓別町国保病院総務係  
主事 喜多 瑠星

### 編集後記

■ 3月末で広報担当から離れることとなりました。様々なところにお邪魔した際には、快く取材を受けていただきありがとうございました。今後とも広報なかとんべつをよろしく願いします！【広報担当A】  
■ 4月から広報担当となります。町民のみなさんに楽しんで読んでもらえるよう頑張りますので、よろしく願いいたします！【スリッパカメラマン☆】

### 広報なかとんべつ 4月号 Vol.712

【発行】 2019年4月10日

【編集】 中頓別町総務課政策経営室 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別 172-6

TEL 01634-6-1111. FAX 01634-6-1155

HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail [koho@town.nakatombetsu.lg.jp](mailto:koho@town.nakatombetsu.lg.jp)

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

\*この広報誌は再生紙を使用しています。